ADempiere (3.5)

インストールマニュアル 補足

ADempiere Community



Contents

改定履	歷3	
1 は	こめに4	
2 Or	acle XE のセットアップ4	
2.1	Oracle XE のダウンロード4	
2.2	Oracle XE のインストール5	
2.3	Oracle XEの起動設定 (任意)10	
3 Po	stgreSQL のセットアップ11	
3.1	PostgreSQL のダウンロード11	
3.2	PostgreSQL のインストール11	
3.3	PostgreSQLの起動設定 (任意)17	
3.4	PostgreSQL のアクセス設定18	
3.5	PostgreSQL のパス設定19	
3.6	Adempiere 用データベースの作成19	

改定履歴

Version (改定日)	改定個所	改定者	改定内容	備考
Ver0.01 (2011/04/28)	-	syatsuzuka	Kubotti の資料をもとに初版 作成	
(
		_		
		,		
_				

1 はじめに

本マニュアルは、ADempiere3.5のインストールに必要となるデータベースの設定手順を記したものです。

本マニュアルでは、Oracle XE と PostgreSQL のインストール手順を説明しており、どちらかを インストールする必要があります。

2 Oracle XE のセットアップ

2.1 Oracle XE のダウンロード

Oracle XE(eXpress Edition)は、無償で入手することが出来るデータベースソフトウェアです。

(参考 URL)

http://journal.mycom.co.jp/news/2006/02/27/340.html

オラクル社のページからダウンロードしてください。ダウンロードするにはユーザー登録が必要 です。Windows 用の Oracle Database 10g Express Edition (Universal) をダウンロード してください。

Oracle XE のダウンロードサイト

http://www.oracle.com/technology/software/products/database/xe/index.html

2.2 Oracle XE のインストール

Oracle XE のインストール手順を以下に記します。

(手順1)インストーラの実行

ダウンロードが完了したらインストール用の実行ファイルをクリックします。

395 KB OracleXEUniv.exe Setup Launcher Oracle Corporation 逆に成るws 会社名: Oracle Corpo	
開いているファイル - セキュリティの警告	
発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか?	
名前: OracleXEUniv.exe 発行元: 不明な発行元 種類: アプリケーション 発信元: C:¥download	
実行(B) キャンセル	
▼この種類のファイルであれば常に警告する(₩)	
このファイルには、発行元を検証できる有効なデジタル署名がありません。信頼で きる発行元のソフトウェアのみ実行してください。 実行することのできるソフトウェアの詳細を表示します。	

図 2-1 インストーラの実行確認

インストーラーが起動するので指示に従ってインストールして下さい。

Oracle Database 10g Express E	dition- インストール・ウィザード	×
DATABASE EXPRESS EDITION	Oracle Database 10g Express EditionのInsta イザードへようこそ InstallShield(R) ウィザードによってOracle Database 10 Editionがコンピュータこインストールされます。続行するにに クリックしてください。	allShieldウ g Express む 「次へ」を
	< 戻る(B)	取消
図 2-2 Ora	acle XE インストール・ウィザード	
racle Database 10g Express E	dition- インストール・ウィザード	
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深く表	う読みください。	CATABASE EXPRESS EDITION
ORACLE DATABASE 10 AGREEMENT	g EXPRESS EDITION LICENSE	
To use this license, you must the accept button or installing	; agree to all of the following terms (by either cl g and using the program):	icking
 ○ 使用許諾条項(こ同意する(A) ● 使用許諾条項(こ同意しない(D)) 		印刷(P)
nstaliəmeid	< 戻る(B) 次へ (M)>	キャンセル

図 2-3 使用許諾条項の同意確認

Oracle Database 1	Og Expres	s Edition- インスト	ール・ウィザー	۴	×
インストール先の選択 セットアップでファイル	! がインストール	されるフォルダを選択して	こください。		CATABASE EXPRESS EDITION
セットアップによって、	Oracle Datab	ase 10g Express Edit	ionが次のフォル。	ダにインストールされ	nます。
このフォルダにインスト ックして別のフォルダ?	、ールするには「 を選択してくだ	ンケヘ」をクリックしてくださ さい。	い。別のフォルダ	にインストールする	には、「参照」をクリ
✓ Oracle Databas	e 10g Expre:	ss Edition			1655988 K
┌ インストール先フォ.	μø				
C:¥oraclexe¥					参照(<u>R</u>)
必要な領域	C:	165	5988 K		
使用可能な領域 InstallShield	C:	11720	5440 K		
			< 戻る(<u>B</u>)	次へ(N) >	取消

図 2-4 インストール先の指定

(手順 2) Web 管理ツールの使用ポート指定

Oracle の Web 管理ツールはポート 8080 を使用します。

8080 ポートがすでに使われていた場合は、以下の画面が表示されるので、任意の ポート番号を指定してインストールして下さい。

Oracle Database 10g Express Edition- インストール・ウィザード	×
HTTPリスナー・ボートの選択	ORACLE DATABASE EXPRESS EDITION
デフォルトのHTTPリスナー・ボート(8080)は、現在使用中です。現在使用されていないHTT を入力してください。	₽₩ート
ポート(<u>P</u>) 8081	
Textel Chiefe	
	取消

図 2-5 Web 管理ツールのポート指定

(手順3)パスワード指定

データベースのパスワードを指定します。パスワードは後で使うのでメモしておいて下さい。

プ ーダヘース・ハスノートの指定 D A T A B A EXPRESS ROT
データベースのパスワードを入力し、再入力してください。このパスワードは、SYSおよびSYSTEM両方 のデータベース・アカウントに使用されます。
パスワードの入力(E) ******
パスワードの確認(2) ******
注意: インストールの完了後にデータベースのホームページにログインするには、ここで入力するパスワ ードでSYSTEMユーザーを使用する必要があります。
InstallShield
〈戻る(8) 次へ(10) > 取消
図 2-6 パスワードの指定

(手順4) インストールの実行

以下の画面で、「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始します。

Oracle Database 10g Express Edition- インストール・ウィザード	
サマリー インストールを続行する前に設定を確認してください。	
現在のインストール設定:	
インストール先フォルダ: O¥oraclexe¥ 'Oracleデータバース・リスナーのボート: 1521 'Oracle Services for Microsoft Transaction Server'のボート: 2030 HTTPリスナーのボート: 8081	<
	>
InstallShield	
〈戻る(母) (インストールの)	取消

図 2-7 インストール内容の確認



図 2-8 インストールの進捗



図 2-9 インストールの完了

上記の画面が表示されたら、インストールは完了です。

2.3 Oracle XE の起動設定 (任意)

ウィンドウズ起動時に Oracle を起動する設定にしていると、ウィンドウズの起動が遅くなるので、Oracle の起動設定をします。

Windows のスタートメニュー(左下にある「スタート」ボタン)から「コントロールパネル」 →「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「サービス」を選んで、「サービ ス」ウィンドウを起動してください。





図 2-10 サービス管理画面

OracleServiceXEを右クリックして、「スタートアップの種類」を「手動」にしてください。

OracleXETNSListener も同様に「手動」にしてください。

これでウィンドウズ起動時には Oracle は起動しなくなります。

Oracle を起動するときは「サービス」から OracleServiceXE と OracleXETNSListener を右クリック→「開始」で起動出来ます。

Adempiereを実行するときに、Oracle Xeを起動してください。

- 3 PostgreSQL のセットアップ
- 3.1 PostgreSQL のダウンロード

PostgreSQL は、オープンソースのデータベースソフトウェアです。

このマニュアルでは、2009 年 12 月 23 日時点で最新の、バージョン 8.4.2 のインストー ル方法を説明します。

PostgreSQL は、日本 PostgreSQL ユーザ会にあるリンクからダウンロードできます。

PostgreSQL のダウンロードサイト

http://www.postgresql.jp/PostgreSQL/8_4/8_4_2

インストールファイルのダウンロード先

http://www.enterprisedb.com/getfile.jsp?fileid=810

3.2 PostgreSQL のインストール

PostgreSQL のインストール手順を以下に記します。

手順1) インストーラの実行

ダウンロードが完了したらインストール用の実行ファイルをクリックします。



開いているファイル - セキュリティの警告
このファイルを実行しますか?
名前: postgresql-8.4.2-1-windows.exe 発行元: <u>ENTERPRISEDB CORPORATION</u> 種類: アプリケーション 発信元: C:¥download
実行(R) キャンセル
▼この種類のファイルであれば常に警告する(₩)
インターネットのファイルは役に立ちますが、このファイルの種類はコンピュータに問題 を起こす可能性があります。信頼する発行元のソフトウェアのみ、実行してください 。危険性の説明
図 3-1 インストール実行確認
順 2) インストール
ハコレニージャーキャー・パー・ハコレット・イン
1ノストーフーが起動するので指示に従ってイノストールして下さい。
Setup
Setup - PostgreSQL
Welcome to the PostgreSQL Setup Wizard.
PostgreSQL
Packaged by:
The Enterprise Postgres Company

手順 3) インストールディレクトリの指定

Install Directory と Data Directory はデフォルト値のままで問題ありません。

1	📑 Setup	X
	Installation Directory	
	Please specify the directory where PostgreSQL will be installed.	
	Installation Directory C:¥Program Files¥PostgreSQL¥8.4	
_		
	BitRock Installer	_
	< Back Next > Cancel	
	図 3-2 インストールディレクトリの指定	
	Setup	3
	Data Directory	
	Please select a directory under which to store your data.	
	Data Directory C:¥Program Files¥PostgreSQL¥8.4¥da 😚	
	BiRock Installer	_

図 3-3 データディレクトリの指定

手順 4) パスワードの設定

Windows に PostgreSQL をインストールすると、Postgres という名前の Windows のユーザーアカウントが作成されます。

Password の設定では、Postgres アカウントのパスワードを設定します。

Postgres アカウントがすでに存在している場合は、正しいパスワードを入力する必要があります。

Postgres アカウントが存在していない場合は、「Next」をクリックした時にアカウントが作成されます。

📑 Setup		
Password		
Please provide a p service account alr account does not e Password Retype password	assword for the database superuser (postgres) and service account (postgres). If the eady exists in Windows, you must enter the current password for the account. If the exist, it will be created when you click 'Next'. *******	
BitRock Installer	<pre></pre>	

手順 5) Port の指定

Port では、PostgreSQL が利用する TCP ポート番号を指定します。この値は 5432 のままにしてください。

🔒 Setup			
Port			
Please select the port number the server sh	ould listen on.		
Port 5432]		
BitRock Installer	<	Back Next >	Cancel
図 :	8–4 Port の排	定	

手順 6) Locale の指定

Locale はCを選択してください。Nextを押すとインストールが実行されます。

📑 Setup	
Advanced Options	
Select the locale to be used by the new database cluster.	
Locale 🔽 💌	
✓ Install pl/pgsql in template1 database?	
BitRock Installer	
< Back	Next > Cancel

図 3-5 Locale の指定



図 3-7 インストール完了画面

インストールが終わると上記画面が表示されます。「Launch Stack Builder at exit?」 のチェックは外してください。

3.3 PostgreSQLの起動設定(任意)

ウィンドウズ起動時に PostgreSQL を起動する設定にしていると、ウィンドウズの 起動が遅くなるので、PostgreSQL の起動設定をします。

Windows のスタートメニュー(左下にある「スタート」ボタン)から「コントロールパネ ル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」→「サービス」を選んで、 「サービス」ウィンドウを起動してください。



ファイル(E) 持	繁作(<u>A</u>) 表示(⊻) ヘルプ(H)					
⇔ → 🔳						
🖏 サービス (ロ・	名前 🛆	説明	状態	スタートアップ	の種類	~
-	RostgreSQL Database Server 8.2	PostgreSQL		手動		
	postgresql-8.4		開始	自動		~
	< li					>
<	\ 拡張 \ 標準 /					_

「postgresql-8.4」を右クリックして、「プロパティ」を選ぶと設定を変更できます。「スタートアップの種類」を「手動」にして、右下の「適用」をクリックください。

これでウィンドウズ起動時には PostgreSQL は起動しなくなります。

PostgreSQLを起動するときはウィンドウズのスタートメニューから

すべてのプログラム > PostgreSQL 8.4 > Start Server をクリックしてください。



図 3-9 PostgreSQLの起動

3.4 PostgreSQL のアクセス設定

PostgreSQL をインストールしたフォルダの data¥pg_hba.conf

(通常は、C:¥Program Files¥PostgreSQL¥8.4¥data¥pg_hba.conf)

をテキストエディタで開いてください。

ファイルの最後にある、下記の箇所に PostgreSQL をインストールした PC の IP アドレスを設定してください。

IPv4 local connections:

host all all 127.0.0.1/32 md5

例1

host all all 192.168.1.11/32 trust

例 2

host all all 192.168.1.0/24 trust

3.5 PostgreSQL のパス設定

psql.exe などがある PostgreSQLの bin フォルダを環境変数「Path」に登録します。

マイコンピュータを右クリックして「システムのプロパティ」を表示してください。

詳細設定タブの「環境変数」ボタンを押すと「環境変数」ウィンドウが表示されます。

「システム環境変数」の中から「Path」を選択して「編集」ボタンを押してください。

変数名と変数値が表示されるので、変数値の末尾に、PostgreSQLをインストールした フォルダの bin フォルダを追加してください。

デフォルトの設定では、以下となります。

;C:\Program Files\PostgreSQL\8.4\bin

3.6 Adempiere 用データベースの作成

adempiere 用のデータベースを作成します。

ウィンドウズのスタートメニューから

すべてのプログラム > PostgreSQL 8.4 > pgAdmin II をクリックしてください。

pgAdminⅢが起動します。

🏘 pgAdmin III	
ファイル(E) 編集(E) プラグイン(P) ビュー(V) ツール	D
🗚 6 a 4 7 r 🖩	🛯 🛃 🌽 🛱 - 🌹 💡
オブジェクトブラウザ ×	プロパティ 統計情報 依存性 依存関係
サーバー (2)	
PostgreSQL 8.4 (localhost:5432)	20175年
B PostgresQL Database server 8.2 (localitost	
	SQLË1-
<	
サーバー 検索詳細…完了	0.00 秒

左側にある PostgreSQL 8.4 を右クリックして表示されたメニューから「接続(C)」をクリッ クしてください。パスワードの入力を求められるので、インストールしたときに入力した、 Postgres アカウントのパスワードを入力してください。PostgreSQL 8.4 に接続するとア イコンの×ボタンが消えます。

「データベース」を右クリックして「新しいデータベース…」をクリックしてください。

表示されたダイアログウィンドウで、「名前」に「adempiere」と入力して OK を押してください。adempiere という名前の新しいデータベースが作成されます。

	🧻 新しいデータ	ペース		
	プロパティ 変数	権限 SQL	_	
	名前	adempiere]	
	OID			
	オーナー	~		
	エンコーディング	UTF8		
	Template	~]	
	テーブル空間	<初期のテーブル空間> 💙		
	スキーマ制限]	
	コーレーション	×		
	文字型	×		
	接続制限数	-1]	
		<u>^</u>		
	אַעאַב			
			1	
	~117		บ	
	図 3-1	1 データベース作成画面		
_				
以上で PostgreSQL のイン	マトールと	:設定は終了です。		